

丹後はひとつ

子どもたちを包み込むはぐくみの環境づくり 丹後はぐくみネットワークキング通信

京都府丹後教育局
のホームページも
ご覧ください

丹後教育局 社会教育広報紙 平成26年度第4号(通算37号) 平成26年11月6日
TEL 0772-22-2175 FAX 0772-22-0479 HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/>

平成26年度丹後体験活動指導者等研修会を開催しました!

平成26年10月30日(木)、丹後教育局では、地域社会の中で子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進するため、コーディネーター等事業関係者の資質向上や、各市町が実施する「京のまなび教室」をはじめとする放課後・週末対策事業についての情報交換等を図ることを目的として開催しました。

今回の研修会については、子どもたちの豊かな体験をさらに充実させていくために、模擬講座と意見交流会を行いました。模擬講座では講師として、夢形エンジニアの千田雅彦様、かんばやし紙ヒコーキ倶楽部の葛目光男様、京都府立丹後郷土資料館の氏松昌平館長の3名をお招きし、体験活動を通して参加者がどのように子どもたちの豊かな体験活動を組み立てればよいか、考える機会としました。意見交流会では、参加者は「子どもたちの豊かな体験活動に向けて」をテーマに、それぞれの活動の交流や悩み等積極的に出し合い、今後の体験活動に繋がる交流会となりました。



声かけ(あいさつ)・見守り運動について

社会総がかりで子どもたちの安心・安全を実現するため、京都府PTA協議会では昨年度に引き続き中学校においていじめ・非行防止キャンペーン事業の一環として「声かけ(あいさつ)・見守り運動」を実施しています。

今年度は府内全中学校(京都市立中学校を除く)でこの運動を実施することになりました。

今回は管内で実施されている取組の中から、2校の取組を紹介します。

~~~~~

### <京丹後市立久美浜中学校>

9月5日(金)に行われた久美浜中学校の「声かけ(あいさつ)・見守り運動」では、PTAの方々とともに民生児童委員の方も一緒に取組をされました。

久美浜中学校は旧2中学校を学校再配置した結果、バス通学をしている生徒が多くなりましたので、地域ごとに声かけ・見守り運動をされています。また、学校においては、PTAや民生児童委員の方が、教職員とともに生徒たちへ「おはよう」などの声かけをされ、文字通り「地域社会総がかり」で取り組まれています。



\*\*\*\*\*

### <与謝野町立江陽中学校>

10月7日から10日にかけて行われた江陽中学校の『PTAあいさつ運動(声かけ・見守り運動)』は、今年になって「ホップ・ステップ・ジャンプ」と銘打った運動の中の「ジャンプ」に当たります。「ホップ」では家庭でのあいさつ運動、「ステップ」では学校においてのあいさつ運動、そして最後の「ジャンプ」では地域も巻き込んだあいさつ運動に、段階を経て『声かけ(あいさつ)・見守り運動』の規模を拡大されています。

このように、計画的に、着実に地域社会総がかりでの運動を展開されています。



~~~~~

今回紹介した2校以外にも、丹後管内では多くの学校で学校・PTA・地域が連携して「声かけ(あいさつ)・見守り運動」を実施されています。多くの方に見守られることによって、子どもたちも安心して登下校できます。今後もこのような、社会総がかりで子どもを育てる取組を広げていきましょう。

なお、中学校における「声かけ(あいさつ)・見守り運動」については、京都府教育委員会社会教育課のホームページでも府内全中学校(京都市を除く)の取組が順次紹介されています。ぜひご覧ください。

いじめ・非行防止キャンペーン事業 検索 または http://www.kyoto-be.ne.jp/syakyou/cms/?page_id=106

平成 26 年度京都府PTA研究大会が開催されました

平成 26 年 10 月 26 日(日)、南丹市日吉町の明治国際医療大学にて、平成 26 年度京都府 P T A 研究大会が開催され、京都府内から多くの P T A の方々が参加されました。午前の表彰式では丹後管内から平成 26 年度京都府 P T A 協議会会長賞個人表彰を船田さえ子様(橘小 P T A)、吉本正子様(伊根中 P T A)、そして団体表彰を五箇小学校 P T A がそれぞれ受賞されました。

また、午後の分科会は 7 つの分科会が行われ、丹後管内から第 2 分科会「生涯学習・読書活動」で京丹後市立大宮中学校 P T A の発表が、第 5 分科会「広報活動」で与謝野町立岩屋小学校 P T A の発表が、それぞれ行われました。

大宮中学校 P T A の発表(写真右上)では、「子どもたちとのふれあいを含むすべての活動をとおして自分自身を高める取り組み」というテーマで、発表されました。読み聞かせボランティアや学校の総合的な学習におけるコメンテーター、パネリストなどの活動をとおし、子どもたちとふれあい、一緒に考える中で保護者自身も成長しようとする様子がよくわかる発表でした。

岩屋小学校 P T A の発表(写真右下)では、「広報活動を通して、人と人とのつながりや絆を深めた取組」というテーマで、発表されました。東日本大震災支援の取組によって生まれた、学校と支援先の関係者の思いを、活動状況や計画等とともに、P T A 広報紙「びくに新聞」で丁寧に紹介した様子をわかりやすく発表されました。

発表者の皆様、取組や準備など、お世話になりました。ありがとうございました。



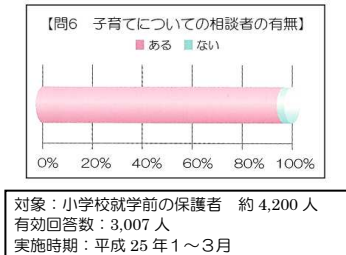
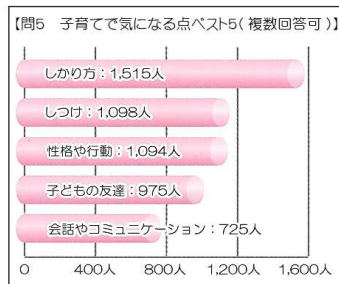
一人で悩まないで～家庭教育資料～のご紹介

京都府教育委員会では、家庭における子育ての現状や保護者の不安・悩み等を把握し、今後の家庭教育支援施策に活用することを目的として、京都府内の小学校就学前の保護者(京都市を除く)を対象に、「子育てアンケート」を実施し、それに基づいてリーフレットを作成しました。

このリーフレットのテーマは「共感すること」です。

誰もが悩みながら子育てをしていることを理解し、子育てについての交流ができる内容となっておりますので、ぜひ、P T A の事業や家庭教育支援等の研修でご活用ください。今回はポイントとなるデータや内容について紹介いたします。

<アンケート結果から>



このような実態に対し、リーフレットでは子育ての具体的な 4 場面を設定した上で「子どもの失敗はしつけのチャンス」「子どもは親の姿を見て学ぶ」「親の笑顔は子どもの元気のもと」「親は子どもの応援団」という 4 つの内容をわかりやすく説明しています。詳しくはリーフレットをご覧ください。

なお、リーフレットは当局家庭教育関連事業を中心に配布しています。ご希望の場合は当局社会教育担当(☎0772-22-4504)にお問い合わせください。ただし数に限りがございますので、在庫底底の場合はご容赦ください。

【次回】平成 27 年 1 月上旬発行予定

丹後管内で行われている人権教育事業や当局家庭教育関連事業を中心に、様々な社会教育事業を紹介する予定です。